

6-2 2/4時の指導計画

(1) 目 標

「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像することができる。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 前時の学習を振り返る。	学習計画表	○2～3名の生徒に前時の「学んだこと」の欄に書いたことを発表させる。	
	2 本時の目標を確認し、学習内容を見通す。	ワークシート②	◆前時の学習活動において「十分満足できる」状況(A)にあった生徒の記述を紹介し、作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像するということについて理解を深めさせる。 ○「那須与一」「弓流し」の場面について、舞台となった時代が歴史的にどのような時代であるか、どのような場面であるかなど、既習内容を想起させる。	
「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像しよう				
展 開	3 教科書に書かれている「平家物語」の登場人物をワークシートに書き出す。	ワークシート③	○那須の与一、伊勢三郎義盛など、すべての登場人物を挙げさせる。	
	4 人物論を書く人物を登場人物の中から一人選ぶ。		○原文だけでなく、口語訳や現代文で書かれた部分にも着目させる。	
	5 選んだ人物の、人柄や性格が分かるような表現を探して教材文に線を引く。		○選んだ登場人物について置かれた状況や言動などに着目するよう指示する。	
	6 線を引いた部分から考えられる人柄や性格についてワークシートにまとめる。		○「人物論」を書くために選んだ人物の言動の意味を、場面の状況と照らし	

展 開	<p>7 選んだ人物の人柄や性格について考えをまとめる。 〔手順〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 根拠を書き出す。 2) 理由付けをする。 3) 主張を1～2文で書く。 4) グループで、自分が考えた主張を出し合い、その違いなどについて質問し合って考えを深める。 	国語辞典 補助資料	<p>合わせて考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「平家物語」の登場人物の人柄や性格を思い描くためには、「生きた時代の状況」と「置かれた立場・職業」などの視点が重要になることを知らせ、社会科の学習で得た知識や、調べたことなどを書き込むように促す。 ○モデル学習を参考にさせる。 ○ものの見方や考え方が分かるような根拠を書き出させる。 ○登場人物の思いなどを想像させて理由付けをするように促す。 ○人柄や性格を表す語彙を一覧表にして渡したり、国語辞典や類語辞典を用意したりして考えをまとめる手助けをする。 ○同じ人物について人物論を書く生徒を4、5名ずつのグループに編成して交流させ、考えを深めさせる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【言①】「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像している。 【ワークシート③】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「平家物語」に表れたものの見方や考え方を基にして「根拠」「理由付け」「主張」を考えて書いている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>モデル学習と対応させて「平家物語」から情報を抜き出させ、生徒の生活経験と比べさせるなどして考えや感想をまとめさせる。</p> </div>
ま と め	8 学習計画表の「自己評価」を行い、「学んだこと」を書く。	学習計画表	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。 ○板書を参考にして学んだことを書かせる。また、グループや学級での交流で参考になった発言などを書くように促す。 	

ま と め	9 次時の「目標」を確かめ、 見通しをもつ。		○次時は、人物論を書くこ とを確認し、見通しをも たせる。	
-------------	---------------------------	--	-------------------------------------	--